

令和2(2020)年度 事業計画書

[令和2(2020)年4月1日から令和3(2021)年3月31日まで]

特定非営利活動法人 子育て応援ナビぽっかぽか

1 事業実施の方針

1) 地域子育て支援拠点事業

(1)子育て中の親子の交流の場としてのつどいの広場

昨年度同様、地域子育て支援拠点の4本柱（①交流の場の提供・交流促進 ②子育てに関する相談・援助 ③地域の子育て関連情報提供 ④子育て・子育て支援に関する講習）等を実施することで、子育て親育ちの場としての役割を担う。

「子どもたちの笑顔のために今、私たちにできることを！」をメインテーマに掲げ、新型コロナウイルスのために不安なスタートとなった今年度のサブテーマは「みんなが安心できる環境を！」とした。その時々、今できることは何か？を考えられる拠点をを目指す。

(2)託児サービス

地域密着Ⅱ型事業として、保育士、子育て支援員等の2名体制で実施する。

子どもたちは今年は特に家庭でも不安な生活を強いられているため、託児によってさらに不安をあおられてはいけないので、より子ども達の安心を優先していく方針。

(3)子育て支援に関する研修等

新型コロナウイルスの影響で研修会も自粛となることが予想されるので、外に出て学ぶのではなく今できる自己研鑽と内部研修を心掛けたい。コロナが終息した段階からは、積極的に外部研修を受けていきたい。

(4)出張ひろば

出張ひろば・ぽっかぽかを倉敷市立倉敷幼稚園2階で、毎週金曜日開所する。新型コロナウイルスの影響のあることが予想される前半の間に新規開拓も含め、広報の方法を考えたい。

(5)地域支援

地域とつながることで解決できることを見極めつつ、地域課題に取り組んでいきたい。ふらっと広場が再開できるよう、支援体制を整えておきたい。

2) 家庭教育等情報収集・交換・発信事業

(6)ぽっかぽか家庭教育学級(倉敷市生涯学習課委託事業)

児童福祉法の改正（体罰の禁止）が4月から施行となるため、今年度はそこに焦点を当てた計画をたてたいと思う。（まだ契約の案内もないため、例年通り受託できる場合）

3) 地域ふれあい交流活動事業

(7)

4) 専門家による相談事業

(8)妊産婦を対象に、産前産後の心身の相談支援を行う。

(9)産じょく期ヘルパーの実施(倉敷市子ども相談センター委託事業など)

「出産日から4か月まで」に延長されたことを積極的に広報する。利用者には他のサービスも紹介し、一人で頑張らなくていいことを伝えていく。

(10)ママヘルパーの実施

産じょく期ヘルパー利用期限後の親子に求められた場合に提供できる自主事業であることを広報していく。特にそのニーズを把握しやすい子ども相談センターや保健所には紙ベースの案内チラシを配布して、詳細について説明する。

2 事業の実施に関する事項

(特定非営利活動に係る事業)

定款の事業名	事業内容	実施予定日時	実施予定場所	従事者の予定人数	受益対象者の範囲及び予定人数	支出見込額(千円)
1) 地域子育て支援拠点事業	(1) みんなの広場・ぼっかぼか	年間240日 月～金 10時～15時	倉敷市美和 1-8-5 山内服装専門学校2階	2～3人	就園前の乳幼児親子 延べ10,000人程度	14,057
	(2) 託児サービス	年間240日 月～金 9時～16時		2人	就学前の乳幼児 延べ300人程度	
	(3) 子育て支援に関する研修等	月1回程度	岡山県内各所	3人	ひろば利用者等 延べ10,000人程度	
	(4) 出張ひろば	年間50日 金 10時～15時	倉敷市中央 2-7-1 倉敷幼稚園 2階	2人	0～3歳までの乳幼児親子 延べ1,000人程度	
	(5) 地域支援	月1回	倉敷市内各所	1～2人	地域住民等 延べ5,000人	
2) 家庭教育等情報収集・交換・発信事業	(6) ぼっかぼか家庭教育学級 (倉敷市生涯学習課委託事業)	年間6回	倉敷市内各所	3～4人	子育て中の保護者等 各回30人程度	130
3) 地域ふれあい交流活動事業	(7)					
4) 専門家による相談事業	(8) 助産師による妊産婦等相談支援	随時	倉敷市内各所	2人	妊産婦等 延べ100人程度	0
	(9) 産じょく期ヘルパー (倉敷市子ども相談センター委託事業)	年間50回程度	倉敷市内各所	1～2人	生後1か月までの乳幼児親子 延べ50組程度	162
	(10) ママヘルパー	年間30回程度	倉敷市内各所	1～2人	生後4か月以降の乳幼児親子 延べ30組程度	30